

2022 年度日本海洋学会第 6 回幹事会議事録

日時: 2023 年 3 月 31 日 (金) 13:30~17:00

場所: 東京海洋大学 9 号館会議室 104/105/106 及び Zoom を利用したハイブリッド開催

出席者: 神田会長、伊藤副会長、伊藤(幸)、岩本、梅澤、江淵、大林、岡(顕)、岡(英)、乙坂、帰山、川合、久保川、齊藤、高橋、土井、中野、西部、野口、長谷川、原田、三角、安中、吉田、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 平坂、米岡)

議題

1. 議事録確認(三角幹事)

2022 年度第 5 回幹事会の議事録が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡(顕)幹事)

2022 年 12 月から 2023 年 1 月の入会者(3 名)と退会者(6)が承認された。2023 年 1 月末時点の会員数は、1437 名。

(2) 募集・推薦等の依頼(岡(顕)幹事)

後援・協賛等の依頼について、9 件の依頼があり、公募・推薦等について 9 件の依頼があり、その他 16 件の報告があり承認された。

(3) 受賞記念講演の座長について (乙坂幹事)

受賞記念講演座長について提案があり、全て承認された。

(4) 会則改正に関する意見募集への対応について (乙坂幹事)

1. 学生会員に関する日本海洋学会会則の改正について応募意見を反映させた改選案が提示され、審議の結果、C 案: 学生会員を一律 3,000 円に減額という案で会則改正し総会にかけるということとした。また、学生会員の滞納が置きにくくする処置として、2022 年 11 月の意見募集時の提案内容 (学生会員は自動更新とはせず、会費前納が確認されない場合、ニュースレターの送付と会員資格を自動停止) に沿って運用することを検討することとした。

2. 日本海洋学会学会賞・岡田賞・宇田賞の改正について応募意見を反映した案として、岡田賞のプライバシーの尊重されるべきであり、推薦紙別紙の提出は必須とせず、チェック欄付の推薦書フォームを用いて推薦を受け付け、必要に応じて別紙の提出とすることとした。

(5) 論文賞の審査日程について (乙坂幹事)

現行の論文賞の審査日程が特に奨励論文賞において選考委員会への負担が大きいため、十分な審査期間を設けるための対策について審議を行い、可否投票の期間を短縮し、会長への審査結果の報告を細則通りに 12 月末までとすることで対応することとした。ただし、奨励論文賞以外の賞については、例年と同様に 12 月上旬に提出いただけるよう、受賞候補者選考委員長に依頼することとした。

- (6) 震災担当幹事の廃止について（乙坂幹事）
担当幹事を廃止することとした。
- (7) 大会参加者の男女比集計について（土井幹事）
「男、女、他、回答しない」の選択肢を、大会 HP に追加することとした。ただし、各個人とのひも付けを行わないことに留意し、且つ最低限のオプションを採用して費用圧縮することとした。
- (8) 2023 年度青い海研究助成事業の採択について（梅澤幹事）
申請された第 20 回国際有害有毒藻類学会の開催への助成を認めることとした。ただし、本来の助成事業の趣旨と合致しない面もあることから、事業名称の変更や、事業終了時の報告書にこの助成による効用等を詳細に記載していただく依頼事項を含めての採択とした。
- (9) 2023 年度若手集会助成について（伊藤副会長）
若手集会助成についてコロナ対応の条項を削除して応募するという提案がなされ、承認された。
- (10) 2023 年度若手海外渡航援助について（伊藤副会長）
若手海外渡航援助について、来年度はオンラインの場合には大会参加費のみを援助という項目を削除して応募するという提案がなされ、承認された。
- (11) 法人化について（神田会長）
法人化に向けた作業進捗が報告され、定款及び細則案が承認された。新法人は、2023 年度中の設立、2024 年 4 月の移行を目指すこととした。

3. 報告事項

- (1) 会長
日比谷会員が IUGG フェローとして選出されたことについて報告された。
- (2) 会計（西部会員）
2023 年度予算希望について報告された。
- (3) 研究発表（土井幹事）
2023 年度春季大会、秋季大会の進捗および、2024 年度秋季大会の予定について報告された。
- (4) 選挙（中野幹事）
3 選挙の選挙結果について報告された。
- (5) 編集
 - ① 「JO」（江淵幹事）
JO の編集状況について報告された。
 - ② 「海の研究」（吉田幹事）
海の研究についての編集状況および J-STAGE への登録の進捗等が報告された。
 - ③ 「ニューズレター」（岩本幹事）

総会案内を同封するために発行が遅れると報告された。

(6) 広報委員会（川合幹事）

役員情報の更新が報告された。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会（乙坂幹事）

2022年度の活動報告および2023年度の予定について報告された。

(8) 海洋環境委員会（梅澤幹事）

委員の交代について報告された。

(9) 海洋環境問題研究会（梅澤幹事）

ホームページ改修作業を行っているとの報告された。

(10) 教育問題研究会（川合幹事）

JpGUに向けて4月に会合を開き2023年度の活動について話し合うと報告された。

(11) 海洋生物学研究会（高橋幹事）

3月20日に東京海洋大学において海洋生物シンポジウム2023をハイブリッド方式で開催し、シンポジウム昼休みに運営会議を開催したことが報告された。

(12) 男女共同参画（野口幹事）

2023年3月27日に連絡会が開かれた、男女共同参画学協会連絡会第21期第2回運営委員会について以下のように報告された。

- ・科学技術系分野における任期付き研究者の雇用問題解決に向けての要望書の提出が承認された。各省庁に要望書を届ける予定。
- ・女子中高生夏の学校、4月に事前調査、5月に正式な募集を開始予定
- ・第21回連絡会シンポジウムは2023年10月14日（土）東大とオンラインで開催予定

(13) 若手支援（伊藤副会長）

若手集会助成、若手海外渡航援助を行う予定が報告された。

(14) リクルート戦略WG（梅澤幹事）

引き継ぎについて報告された。大学進路相談において二ヶ月に5件問い合わせがあり返答したとの報告があった。

(15) 海洋環境の事典編集委員会（原田会員）

編集会議において対象読者からのフィードバックについての報告があった。

(16) 次年度幹事の役割分担について（岡(顕)幹事）

次年度の幹事の役割分担について報告された。

以上